

行政視察報告書(記入例)

委員会名(会派名)	●●常任委員会	報告者	
視察日程	令和 年 月 日() ~ 月 日()		
調査事項 及び 視察地	① 子どもの権利条例、子どもの貧困対策等について(●●県●●市)		
	② 障害児者のライフステージに応じた一貫支援の取組みについて(●●県●●市)		
	③		
	④		
参加議員(委員)	●●●●、●●●●、●●●●、●●●●		
①	<p>【調査目的・内容】 本市では、子どもの貧困対策に関する基本理念や目標を定め、施策を体系的に整理し、総合的に推進していくための「千葉市こども未来応援プラン～子どもの貧困対策推進計画～」の策定や子どもに関する様々な問題について、家庭その他から相談に応じ、子どもが有する問題、子どもの置かれた環境、状況を的確に捉え、個々の子どもや家庭などに最も効果的援助を行い、子どもの福祉を図り、権利を保護するための施策に取り組んでいる。</p> <p>札幌市では、平成20年に「札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例」(子どもの権利条例)を制定するなど、これまで、子どもが豊かに育つ環境づくりを進めてきた。</p> <p>については、これまでの札幌市の取り組みを学び、本市の施策に生かすことを目的とする。</p>		
	<p>【所感】 子どもの貧困対策計画を作る上で、市民アンケート調査、支援者ヒアリング、座談会を行って計画に反映していることにも感心した。子どもアシストセンターについても、子どもからの相談を受けており、子どもたちの認知度が7割というのは高いし、他の機関と年に2回、連携する会議があることはよいと思う。</p> <p>札幌市では、現在、子どもコーディネーターをモデル事業で行っており、ジャンルを問わず、様々な子どもに関する相談は乗っている。子ども食堂との連携も薄く、今のところ、札幌市も子どもの貧困対策については手探りな感じがした。</p> <p>現在、本市において子どもに関する取り組みを行っているが情報共有や組織横断的な取り組みをしていく必要性を大いに感じた。</p>		
②	<p>【調査目的・内容】 東村山市では平成28年度から「0歳から18歳までの子どもと保護者を対象に、切れ目のない一貫した相談・支援を提供する」ため、それまでの幼児相談室と教育相談室を一体化させた子ども相談室を開設した。</p> <p>しかし、保育や教育に加えて、就労や生活介護など、障がい者が生涯において直面する課題は多岐にわたる。東大阪市が平成29年度に開設した障害児者センター「レピラ」という施設はこの大きな課題に自治体として積極的にこたえようとするものである。その事業の理念を学び、今後の取り組みに生かすために視察を行った。</p>		
	<p>【所感】 「地域の中で生活できる環境づくり」を一貫して目指す、障がい児者支援が徹底して行われている。施設は新しくなり、機能は集約され、ますます複合的な効果がこれからも見込まれていくと思うが、なによりも昭和55年に療育センターを設立した精神が根幹に息づいていると感じた。</p> <p>東村山市でも、相談室の一元化はもちろんのこと、様々な施設がある中で面的な整備、利用者と地域の共生を行政がハブとしてつなげていく役割がこれから期待される。障がいがあってもなくても地</p>		

域で孤立せずに、明るく健やかにいきいきと暮らせる居場所を東村山市にも作る仕組みを議会としても考えていきたい。

③ **【調査目的・内容】**

【所感】

④ **【調査目的・内容】**

【所感】

【視察の様子】

① ●●市



② ●●市



③ ●●市

(ここに写真を2枚程度入れてください)

④ ●●市

(ここに写真を2枚程度入れてください)

令和●年●月●日